

◆第6回 説明文の分析的読解（6）／語句6（重箱・湯桶読み）

文章題では説明文を学習します。理由をつかみながら文章を読み、さらにはそれを正確に記述する力の養成を目標にしています。

語句は重箱・湯桶読みの学習をします。特に音読み・訓読みで間違いやすい言葉を中心に問題が組み立ててあります。

◆第7回 説明文の分析的読解（7）／語句7（三字・四字熟語1）

文章題では説明文を学習します。具体的な部分と抽象的な部分のつながりを明確に理解し、記述する力の養成を目標にしています。

語句は三字・四字熟語の学習をします。いろいろな三字・四字熟語を覚え、パズル的な問題もあつきます。

◆第8回 物語文の分析的読解（1）／語句8（三字・四字熟語2）

文章題では物語文を学習します。回想の場面を含む本文を通して、場面を意識して正確につかむ力の養成を目標にしています。

語句は前回同様、三字・四字熟語の学習をします。打ち消しの漢字を含む三字熟語や、漢数字の含まれた四字熟語など、テーマをしぼって学習します。

◆第9回 物語文の分析的読解（2）／語句9（慣用句1）

文章題では物語文を学習します。文章中の言葉だけでなく、自分の言葉も補いながら記述する力の養成を目標にしています。

語句は慣用句の学習をします。特に体の一部を使った慣用句を、意味を確かめながら覚えていきます。

◆第10回 物語文の分析的読解（3）／語句10（慣用句2）

文章題では物語文を学習します。本文から、それとなく示されている（暗示されている）内容を考え、つかむ力の養成を目標にしています。

語句は前回に続き慣用句の学習をします。特に「猫」・「気」を使った慣用句や、パズル系の問題を学習します。

10月は「場合の数」、「比例」、「速さ」について学習します。どれも大切なテーマですが、特に「場合の数」は入試頻出分野ですので、今のうちに基本的な考え方を身につけることが重要です。どちらも本格的な勉強は5年生からですが、今回の学習であいまいな部分を残さないように取り組んでほしいと思います。

動画視聴時のお願い

まずは自分の力で問題を解いてから動画を見ることをおすすめします。ただし、その単元の内容に関する予備知識が全くない場合は、動画から先に確認していただいて結構です。その場合、動画視聴後にもう一度解き直すとより定着が良くなります。また、先に問題を解いて間違えた場合も、動画を確認した後で解き直しをしてください。お子様が「解く→直す」の学習姿勢を4年生のうちに身につけることも大切です。

◆第6回 場合の数Ⅱ

前回に引き続き「場合の数」について学習します。今回も計算だけで処理をしようとせず、“手を動かして答えを出す”ことを意識して問題に取り組んでほしいと思います。“数えもれが無いように調べ上げる”ことができるようになりましょう。

○必ず押さえてほしい問題・・・**1**、**2**、**5**、**6**

○宿題・・・第6回補充問題

◆第7回 規則性Ⅴ

「比例」について学習します。「片方の数が2倍、3倍…になると、もう一方の数も2倍、3倍…になるものを」を比例といいます。このように2つの数の関係について考えること自体が初めてという人も多いと思います。特に**1**や**2**の問題は、初めは戸惑うかもしれませんが、繰り返し考えると理解できるようになりますので、日をおいて再度取り組んでもらいたいと思います。

○必ず押さえてほしい問題・・・**1**、**2**、**4**、**5**、**7**

○宿題・・・第7回補充問題

◆第8回 規則性Ⅵ

今回は「比例」を中心としたグラフについて学習します。「グラフ」については、まずたて軸とよこ軸を使った表し方に慣れてください。今回は、巻末の補充問題第8回にもグラフに慣れるための問題がたくさんありますので、動画を視聴した後は是非取り組んでください。

○必ず押さえてほしい問題・・・**1**、**2**、**5**

○宿題・・・第8回補充問題

◆第9回 速さⅠ

今回は速さについて学習します。5年生になると「速さ・時間・道のりについての公式」で処理しますが、4年生のうちは公式ばかりに頼るのではなく、比例の考え方を使いながら解き進めていきます。こうすることで速さの単位の意味をきっちりと理解できますので、4年生のうちは公式に頼りすぎないようにしましょう。

○必ず押さえてほしい問題・・・☐1、☐2、☐3、☐4、☐5

○宿題・・・第9回補充問題

◆第10回 速さⅡ

前回学習した速さの知識を使って、「進行グラフ」の問題に取り組みます。進行グラフは、最終的には自分の力で書けるようになることが必要ですが、4年生のうちは正しく読み取ることができれば十分合格です。まずはしっかりと読めるようになってもらいたいと思います。

○必ず押さえてほしい問題・・・☐1、☐2、☐3、☐6

○宿題・・・第10回補充問題

◆後期第4回 立体図形(2)

① 【例題】と【練習】

【例題】はすべて動画が用意されています。

【例題1】 柱体の体積・表面積

同じ大きさ・形のカードを何枚も積みかさねてできた立体のことを全般的に「柱体」とよび、カードの形によって「三角柱」「四角柱」「円柱」などのように名前が変わります。第3回で、直方体の体積および立方体の体積を学習しましたが、「直方体の体積＝たて×横×高さ」の公式の「たて×横」の部分は、いわゆる底面の面積（底面積）にあたります。ですので、柱体の体積は、底面の形にかかわらず、「柱体の体積＝底面積×高さ」で表せます。

また、立体の表面すべての面積の合計を表面積といいます。ここでいう表面とは、立体をペンキの中に沈ませてから引きあげたとき、ペンキが付着するすべての部分のことをいいます。なので、外側だけではなく、内側の部分で表面積となりうる部分があることに注意しましょう。基本的には、その立体の展開図をかいたときの展開図の面積が表面積であるにとらえてください。はじめのうちは、展開図をかいて考えるようにしましょう。特に、円柱の体積・表面積の問題で「 $\times 3.14$ 」の計算が複数回登場するときは、まとめ計算しやすいように「 $\times \pi$ （パイ）」として記し、できるだけ複雑な計算を避けれるようにしていきましょう。

【例題2】 すい体の体積・表面積

同じ形のカードを大きい順に何枚も積みかさねてできた立体のことを全般的に「すい体」とよび、積み重ねるカードの形によって「三角すい」「四角すい」「円すい」などのように名前が変わります。今回、すい体のうち、「円すい」の体積・表面積について考えます。

「すい体の体積＝底面積×高さ× $\frac{1}{3}$ 」をはじめとする、円すいの体積・表面積に関する重要公式の説明を動画でおこなっているのので、しっかり理解しましょう。

【例題3】 断頭円柱の体積

円柱をななめに切ったような形を「断頭円柱」とよびます。この体積は同じ立体を2つ上下逆さまにしてくっつけると円柱になることから求めることができます。

【例題4】 回転体の体積

細長い棒に、さまざまな平面図形をくっつけ、その棒を竹とんぼのようにクルクルと高速回転させたときに見える残像の立体の体積や表面積を考えます。まず、回転させるとどのような形になるのか、しっかり図示できるようにしていきましょう。

各【例題】の動画を見て理解したら必ず【練習問題】に自力で取り組んで答え合わせをし、間違っていたらどこで間違ったかをよく確認して、再度解き直しをするということを徹底してください。わかりにくくなった場合は再度【例題】の動画を見てみましょう。

② 【練成問題】

【練成問題】はほとんどの問題が動画であついていますので、その問題についてはしっかりと理解をしてください。また、以降の図形の問題では、自分で書いた図に書きこむ機会が多くなりますので、すばやく図が書けるように練習しておきましょう。

③は、軸ごと回転させたときにできる立体がどのような形になるのか、きちんと図示できるようにしましょう。

④(3)は、直方体 2 つを組み合わせた形ですが、これを「六角柱」とみなすと、表面積の式の組み立てが楽になります。

③ 宿題などについて

【練成問題】の後【A 問題】、【B 問題】がありますが、ここは宿題となります。【B 問題】はレベルの高い問題もありますが、がんばって取り組んでみてください。

◆第 5 回 文章題(4)

① 【例題】と【練習】

【例題】はすべて動画が用意されています。

【例題 1】 つるかめ算の基本

つるかめ算の基本(2 種類のつるかめ算)です。表の解き方も大事ですが、いずれはパターン化して処理できるように練習しましょう。

【例題 2】 つるかめ算の応用

【例題 1】と同様に表をかいて「代金の差」を考えると、「代金の差が切手 1 枚ずつの代金の合計」ずつ変化していくことに気づくでしょう。普通のつるかめ算の代金の変化とどのようにちがうのか、確認しておきましょう。

【例題 3】 弁償のつるかめ算

【例題 3】のような問題を「弁償のつるかめ算」とよんでいます、実は内容的には【例題 2】と同じ内容になります(条件を式に整理してみて比較すればよくわかります)。

【例題 4】 3 種類のつるかめ算

求める個数が 3 種類以上ある問題です。これも基本的に表をかいて、代金の変化に注目して解きますが、2 種類のつるかめ算と比べて、個数についての条件がもう 1 つ追加されることに注意しましょう(今回の場合は、100 円玉と 50 円玉が同じ枚数であるという

ことです)。

また表をかいて考える以外に、平均のねだんを使って考える方法があります。

各【例題】の動画を見て理解したら必ず【練習問題】に自力で取り組んで答え合わせをし、間違っていたらどこで間違ったかをよく確認して、再度解き直しをするということを徹底してください。わかりにくくなった場合は再度【例題】の動画を見てみましょう。

②【練成問題】

【練成問題】はほとんどの問題が動画で扱っていますので、その問題についてはしっかりと理解をしてください。

④ 宿題などについて

【練成問題】の後【A 問題】、【B 問題】がありますが、ここは宿題となります。【B 問題】はレベルの高い問題もありますが、がんばって取り組んでみてください。